

# サブスクライブにおける調査研究

S20222 西川雄貴

## 1. はじめに

現代日本では多くのサービスがサブスクライブ化され、人々に利用されている。利用する以前に比べ、生活の便利さが格段に上がったと実感できる場合もある。本研究では、サブスクライブに関するアンケートを実施し、今後どういったサービスやコンテンツが利用者に求められていくのかを明らかにすることを目的とする。本研究では、実施されているサブスクライブのサービスについて調査を行なった。それに基づいて、実施するアンケートの内容を検討した。さらに、サブスクライブに関する関連研究の調査を行なった。

## 2. サブスクライブ事例

以下は、調査したサブスクライブの事例である。

- 音楽配信サービス  
Amazon music Unlimited(月額 980 円), Apple Music(月額 1080 円), Spotify(月額 980 円), LINE MUSIC(月額 980 円), AWA(月額 980 円), Rec Music(980 円), YouTube Music(iPhone:月額1280 円, Android:月額 980 円), KKBOX(980 円), ANiUTa(月額 600 円), Rakuten Music(月額 980 円)
- 映像配信サービス  
U-NEXT(月額 2189 円), Netflix(月額 990 円), Amazon Prime Video(月額 500 円), YouTube Premium(月額 1180 円), Disney+(990 円), Hulu(月額 1026 円), Abema プレミアム(月額 960 円), DAZN(月額 1925 円), DMM TV(月額 550 円), mieru-TV(月額 990 円), WATCHA(月額 869 円), FOD プレミアム(月額 977 円), dTV(月額 550 円), WOWOW(月額 2530 円), Paravi(月額 1070 円), TUTAYA TV(月額 1026 円), ニコニコ動画プレミアム(月額 550 円)
- 本、雑誌、漫画等のサービス  
Ameba マンガ(月額 330 円), まんが王国(月額 1480 円), 楽天マガジン(月額 418 円), ブック放題(月額 550 円), いつでも本棚(399 円), d マガジン(月額 440 円), auブックパス(月額 618 円),

タブホ(月額 550 円), Kindle Unlimited(月額 990 円), flier(月額 2000 円), Shelff(月額 2750 円), Audible(月額 1500 円)

- 家具のレンタルサービス  
Subsclife(月額 500 円), airRoom(月額 500 円), PLUSY(月額 980 円), BEERACLE(月額 2980 円), Dentalv(月額 330)
- 飲食サービス  
居酒屋一休(月額 500 円), 渋パス(月額 825 円), SASAYA(月額 7700 円), coffee mafia(月額 3000 円)
- 車のレンタルサービス  
Honda マンスリーオーナー(月額 29800 円), KINTO ONE(月額 21230 円)

## 3. アンケート内容

アンケートでは、年齢や性別などの基本的な情報に加えて、調査したサービスの利用と利用金額、また、今後利用したいサブスクライブや希望金額、最後に今後あったらいいと思うサブスクライブについての自由記述の質問を行う。アンケート結果を参考に今後どのようなサービスがユーザーに求められていくのかを明らかにする。

## 5. まとめ

サブスクリプション価格が消費者行動に与える影響では、サブスクライブ関連の研究の議論が少なく発展途上であることが指摘されており、発展の進んでいない研究分野だと言える<sup>1)</sup>。しかし、サブスクライブの市場は年々成長し普及も進んでいる。進化の進んでいくサブスクライブ市場において、アンケート調査により、これからどういったサービスやコンテンツが求められていくのかを明らかにしたい。

## 参考文献

- 1) 茂木雅祥, 守口剛, “サブスクリプション価格が消費者行動に与える影響”, 経済情報学会 2019 年秋季全国研究発表大会, pp.5-8, 2019.10.